

# 創刊号

発行 年 3 回・12500 部  
 編集・発行 海老名市教育委員会  
 〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1  
 ☎046 (231) 2111

# えびなの教育

⑥サマースクールの様子 (東柏ヶ谷小学校)



## 主な内容

- 2面 教育委員会とひびきあう教育・教育委員会の予算
- 3面 いじめへの対応・少人数指導・えびなっ子プラン
- 4面 サマースクール・特別支援教育・食の創造館・教育長雑感

市教育委員会では、このほど「えびなの教育」を発行しました。

本紙では、教育委員会や学校のさまざまな取り組み・事業などを紹介していきます。



⑤朝のあいさつ運動の様子 (有馬小学校)



## 教育委員会・教育委員って どのような仕事？

教育委員長 難波 淳一

「教育委員って何をしてる人？」と、よく問われます。そもそも教育委員会とは何でしょうか。

海老名市教育委員会は、市議会の同意を得た、市長任命の5人の委員で構成されています(詳細は2面「教育委員会とは？」参照)。

主な仕事は、教育の基本方針を決めるほか、市立小中学校の施設管理や教育全般に関わる「目配り・気配り」です。委員会には事務局が設置され、事務局までを含めて教育委員会と呼ぶのが一般的です。教育委員会が抱える

### 教育委員会の三原則

**首長からの独立性:** 市長が替わっても教育委員会の教育方針は基本的に変わらない

**合議性:** 多様な意見の集約、中立の視点での意思決定には複数委員の合議が重要

**レイマンコントロール:** 学校教育に住民の意志を反映させるため、教育専門家や行政官ではない住民の指揮・監督が必要

問題点などについては、次号の「えびなの教育」で一緒に考えましょう。

### ◆教育委員の活動とは

教育委員の活動は下表のとおりです。堅いものばかりのように見えますが、委員が大切にしている活動がもう一つあります。それは、親睦を兼ねた小旅行です。同じ時間を共有することで、立場や主義・主張が異なる委員の間に、互いを認め合うきずなが生まれ、円満・円滑な委員会運営ができると考えています。



### 教育委員の活動 (教育長を除く)

- 定例会議(月1回・公開)
- 臨時会議(生徒・指導上の問題、事故・健康・環境問題など、事案発生ごとに開催)
- 学校訪問(月平均 1.5 校)
- 卒業式・入学式参列(祝辞)
- 委員会・学校主催行事、PTA・社会教育関連行事への参加(あいさつ)
- 定例会の事前学習会
- 法規研修会
- 委員間の情報交換・共有会出席



教育委員会とは？



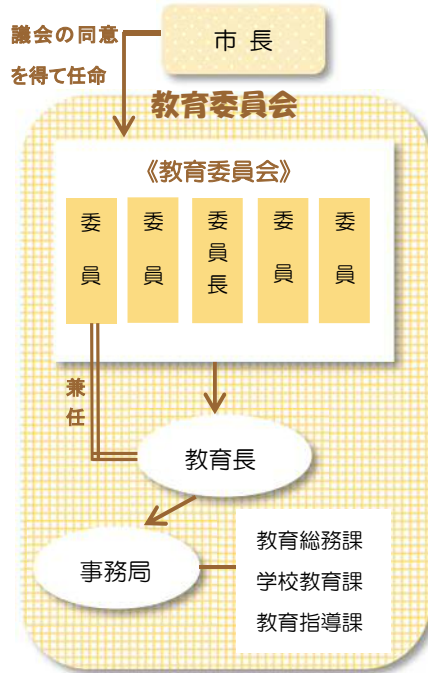
教育委員会は、市が設置する行政委員会の一つで、5人の委員で構成されています。

教育に関する重要事項や基本方針を決定する合議制の執行機関です。委員の中から委員長が選任され、委員長は委員会の代表です。

委員会のすべての事務の執行責任者が教育長であり、教育委員会が委員（委員長を除く）の中から任命します。教育長は常勤職員です。

海老名市の教育委員会事務局には、教育総務課・学校教育課・教育指導課の3課があります。

図式化すると右図のとおりです。



ひびきあう教育とは？



市では、21世紀の市の教育理念を「ひびきあう教育」としています。

「ひびきあう教育」とは、子どもが自然や人と体験的に関わり、その過程を通して、「自分自身が深まる喜び」「世界が広がる喜び」「人と支え合う喜び」「生きる喜び」を実感することができる教育です。

これは、子ども・学校・家庭・地域の人たちとの「かかわり」によって創り出されます。

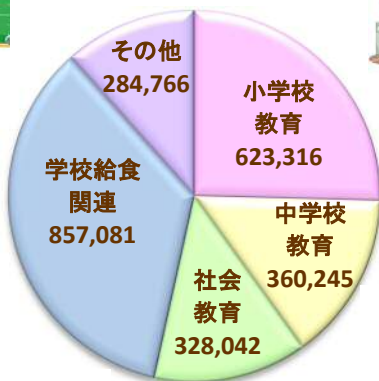
学校・家庭・地域社会が、それぞれの役割を自覚し、それらを果たすことによって、「かかわり」の場を創造し、教育活動を実践することを目指しています。



平成 24 年度 教育委員会の予算

24 億 5,345 万円 (人件費除く)

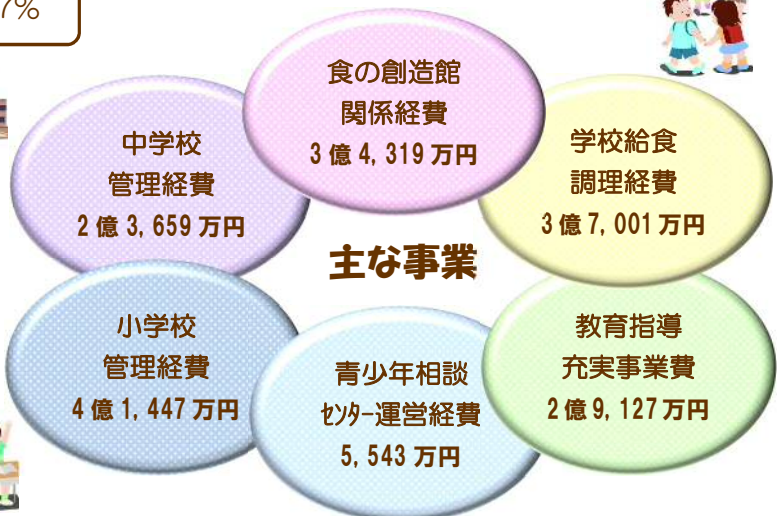
市全体の予算 368 億 7000 万円の 6.7%



(単位：千円)

教育委員会の平成 24 年度予算と主な事業をお知らせします。

予算の主な使い道は、「食の創造館」整備に関わる経費のほか、教育指導の充実など、小中学校の教育環境整備に向けた内容となっています。





## いじめへの対応方針の紹介

市教育委員会では、いじめに対する方針を定めています（右表参照）。この方針を基に、いじめへの対応を、よりの確なものにしていくため、次のとおり対策を実施します。

### いじめに対する方針

- 「心の教育」の充実を図る
- 早期発見、早期対応に努める
- 関係機関との連携を図る

- (1) いじめを許さない学校づくりを進めるため、毎年、年度初めに上記方針を全教職員で確認する
- (2) お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にする指導などを充実させるため、毎年、全教職員で研修を実施する
- (3) いじめの兆候をいち早く把握し、迅速に対応するため、教育相談などの機会を通して、実態把握に努める。また、毎学期、児童・生徒から生活実態アンケート調査を実施する
- (4) すべてのいじめを教師が把握し、解決を図るため、場合によっては生徒会等と教師が連携して、いじめに対応することを視野に入れる

### 基本的生活習慣の定着を

#### ～学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン～

基本的生活習慣は、学力や体力と相関関係があり、子どもたちの心の問題にも影響していると言われています。

海老名の多くの子どもたちも、「早寝・早起き・朝ごはん」といった基本的生活習慣の定着が充分ではないことが分かっています。

市では、平成 22 年度に「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」を策定しました（22～24 年度の 3 年計画）。本プランでは、子どもたちの基本的生活習慣を定着させ、知・徳・体のバランスがとれた「元気なえびなっ子」を育成することを目標に、さまざまな活動に取り組んでいます。

「えびなっ子を海老名市民全体で育てる」という視点から、学校や教育委員会だけではなく、家庭・地域・各関係機関などとも連携して、「市民総がかり」の取り組みとして進めていきたいと考えています。皆様のご協力をお願いします。

市の少人数指導では、それぞれの学習状況や能力に応じた指導を展開することで、児童生徒のつまずきを的確に把握し、子どもたちに基本を定着させることができます。また、子どもたちが、毎日の授業を通して味わう「学ぶ喜び」によって、自信を持つことができるとともに、クラス全体の学習意欲も高まり、子ども同士の信頼関係が深まります。

今後も授業を通して、一人一人が「学ぶ喜び」を実感し、生き生きと学習に取り組むことができるよう、より良い少人数指導のあり方を探っていきます。

### 少人数指導で「学ぶ喜び」を

#### 《現在実施している少人数指導》

- 小学校…学習内容が難しくなる中高学年の算数
- 中学校…数学のほか、理解度に差が出やすい理科や英語



#### 子どもたちの声



「人数が少ないので、丁寧に教えてもらえる」  
「分からない部分を先生に質問しやすく、発言も増えた」

#### 海老名の子どもたちの生活状況

（平成 21 年度全国学力学習状況調査結果抜粋）

- ◆朝食を食べない子ども
- ◆寝る時間が 23 時以降の子ども
- ◆テレビやゲームの時間が 1 日 3 時間以上の子ども



#### 元気なえびなっ子プラン 主な活動内容

- ◆朝のあいさつ運動
- ◆基本的生活習慣実態調査（全児童・生徒、保護者対象）
- ◆総合的な健康・体力づくり（全小中学校）
- ◆モデル校での実践研究（小学校 2 校、中学校 1 校）



### サマースクールを実施

～夏休みの学習・体験の場～



これまで夏休みは、子どもが家庭や地域で時間を過ごし、学校生活では育むことができない社会性や協調性を身に付ける大切な期間でした。しかし現在は、子どもが安全に遊んだり、友だちと自由に活動したりする場所の確保が難しくなっています。

市では、夏休みの一定期間に学校施設を利用し、子どもたちに学習や体験の場を提供するため、サマースクールを実施しています。

サマースクールでは、安全性が高く、冷房機器を完備した学校施設を開放することで、子どもたちが学年の枠を超えて、友だちや地域の人たちと「ひびきあう」ことができます。

今年の夏は、延べ約 1 万 6 千人の子どもたちが、サマースクールに参加しました。



### 食の創造館がオープン

学校給食などのサービスを提供

「食の創造館」がオープンし、第 2 学期から、市内小学校 12 校に学校給食を提供します。

この施設は、「食」をキーワードに、学校給食のほか、多くの市民にサービスを提供するために建設したものです。

同施設では、災害時の炊き出し施設としての活用、会議室や調理実習室などの一般開放、食育を考えた幼稚園給食の提供など、さまざまな目的に活用予定です。

- ◇場 所 海老名市中新田 4-12-2
- ◇建物概要 鉄骨造地上 2 階建て
- ◇建築面積 2481.98 m<sup>2</sup>
- ◇延床面積 3484.21 m<sup>2</sup>



#### 主な特色

- ◆最大 8 千食の調理に対応
- ◆ドライシステムの導入
- ◆米飯調理設備の導入
- ◆米飯給食実施回数拡大

### 特別支援教育の紹介

～共に学び、共に育つ教育～



市の特別支援教育では、障がいの有無に関わらず、教育的支援が必要な児童・生徒の自立に向け、一人一人の要望を把握し、支援を行っています。その一つとして、子どもたちが地域で学び育つことの意義を大切にするため、「特別支援学級」を全小・中学校に設置しています。

また、海老名小学校では、拠点校として「肢体不自由級」を開設し、エレベーターや肢体不自由の児童が使いやすいトイレの設置など、車いすでの学校生活に適したバリアフリーの校舎となっています。

#### ◆支援制度などの「利用を

通常級に在籍し、特別支援教育を必要とする児童・生徒に対し、支援の制度などがあります（下表参照）。利用については、担任へご相談ください。

- 補助指導員・介助員制度 ●日本語指導教室
- 通級教室（ことばの教室・そだちの教室）
- 教育相談コーディネーター ●校内委員会・ケース会議
- 入学時の就学相談 ●えびなっこサポートファイル



### 教育長雑感

～ ロンドンオリンピック ～

今年の夏は、ロンドンオリンピックでの日本選手の大活躍に、寝不足気味の毎日が続いた人も多いことでしょう。

ひょっとしたら子どもたちもそうかもしれませんね。早寝、早起き、朝ごはんの取り組みとは矛盾するかもしれませんが…。

競泳、陸上、サッカー、体操、卓球、バドミントン、バレーボール、レスリングなど、素晴らしい戦いぶりに一喜一憂し、思わず大きな声を出してしまう時もありました。とにかく感動の連続でした。

テレビの画面には毎日たくさんの涙と笑顔があふれ、勝っても負けても、メダルがなくとも、選手の精いっぱい戦いぶりに大きな感動を覚えました。

海老名の子どもたちも、感動した場面はさまざまですが、きっと心から大きな声援を送ったことでしょう。

今の子どもたちは、「夢」や「目標」がないとよく言われます。

オリンピックを通して、日本だけではなく、各国のトップアスリートの皆さんが、子どもたちに「夢」や「目標」、そして「私もがんばってみよう」という大きなプレゼントを贈ってくれた気がします。



次号の「えびなの教育」は12月20日発行です